

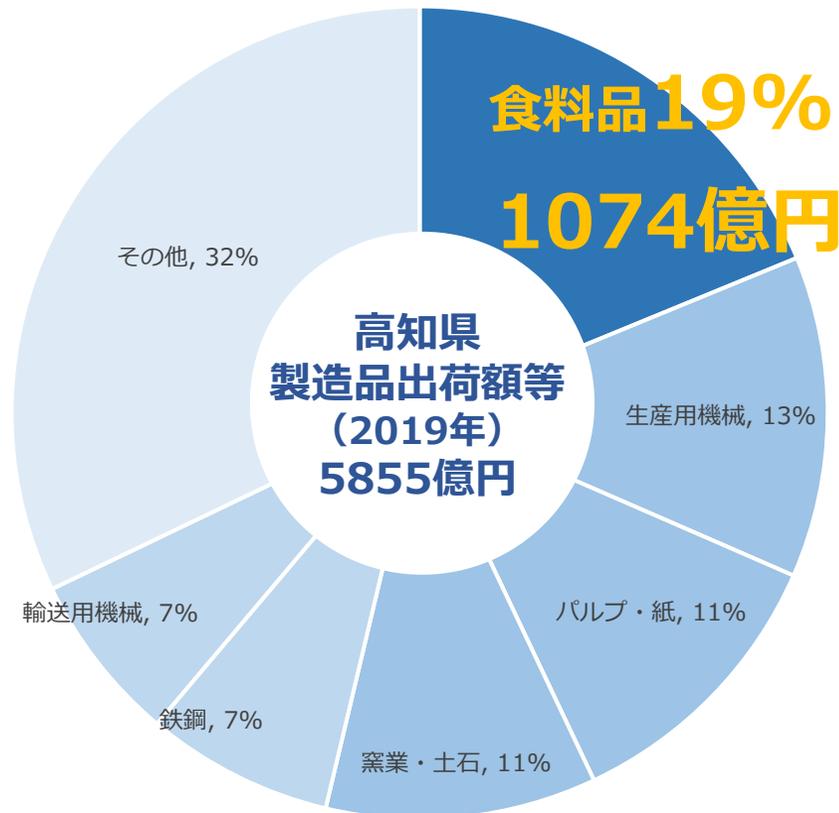
# 食料品製造業における6次産業化のポイント

---

2024年10月18日

# 1. 高知県の食料品製造業の特徴

- 2019年の高知県製造品出荷額等は5855億円となっており、そのうち食料品製造業は約19%（1074億円）を占めます。
- 食料品製造業は県内製造業の中で事業所数、従業者数が最も多い業種となっています。
- 高知県産業振興計画では、2027年（令和9年）の製造品出荷額等6780億円、食料品製造業出荷額1300億円を目標としています。



令和2年工業統計調査（令和元年実績）及び高知県工業統計補完調査結果確報のデータをもとに加工

## 2. 高知県の食料品製造業の特徴（地域内加工割合の状況）

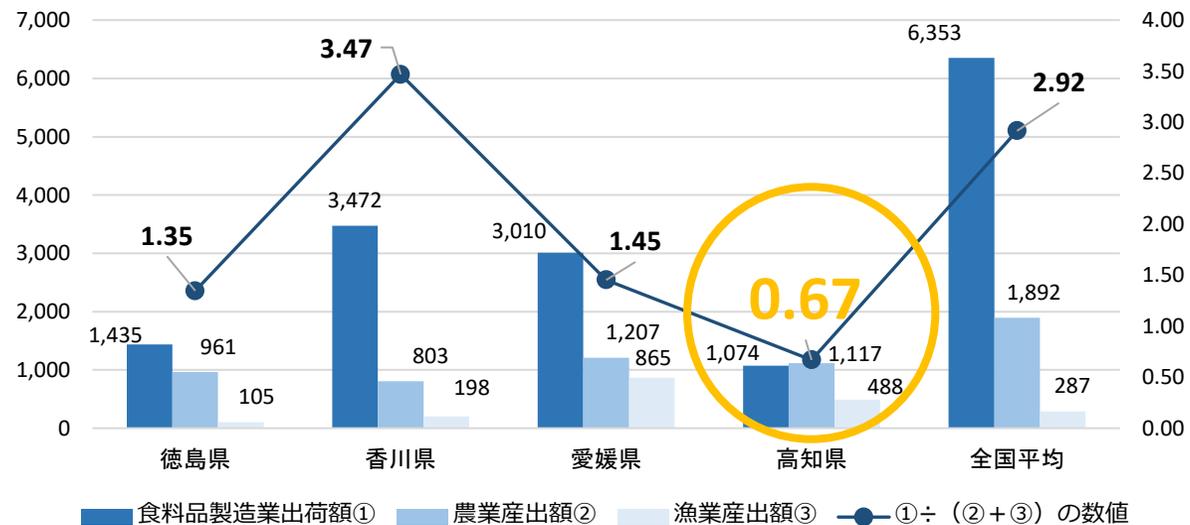
- 高知県の地域内加工割合※は**0.67倍**と他県に比べて低いです。（全国平均**2.92倍**）
- 四国県内では、香川県**3.47倍**、徳島県**1.35倍**、愛媛県**1.45倍**となっています。

※地域内加工割合とは、地域内における食料品製造業出荷額と一次産業出荷額（農業算出額＋漁業算出額）の割合のこと

高知県…（食料品製造業出荷額1074億円）①÷（農業算出額1117億円＋漁業算出額488億円＝1605億円）②＝**0.67倍**

### 地域内加工割合

（2019年：四国各県・全国平均）



e-stat（政府統計の総合窓口）・RESAS（地域経済分析システム）よりデータ抽出し四銀地域経済研究所の分析を参考に加工

### 3. 「食」の地域資源を生かした6次産業化

- 高知は豊かな農水産物を背景に「食」に関する地域資源が豊富であり、1次産業の強みを活かし食料品製造業まで展開することで高付加価値化が可能です。
- 地域の特産品を活用した商品開発や農商工連携による6次産業化などに取り組んでいる事例もあります。
- 当行支援先である株式会社山北みらいでは、山北みかんのブランドを守る取り組みとして商品開発や販路拡大を行っています。

#### 取組事例

#### 株式会社山北みらい（高知県香南市）

- 同社は2019年6月、高知県香南市山北において農業生産事業、地域商社事業、商品加工事業等を実施することを目的に設立されました。
- 山北みかんを原材料として、ジュースやかき氷などを自社商品として販売するほか、地元企業のワイン飲料にも利用されており、地域特産品としてのブランド価値を確保しています。
- 『地域就農』というコンセプトを掲げ、新規就農者を育てる活動を実施中です。



## 4. 食料品製造業における6次産業化のポイント

- 6次産業化を成功に導くためには、商品開発力向上、生産性向上、販売力向上などの取り組みが不可欠です。
- 最新技術や市場トレンドを取り入れたり、行政、大学、他産業との連携を積極的に進めることも有効です。

### 商品開発力向上

#### <産学官連携>

- 大学、研究機関、地公体等との連携、地域特性を活かした商品企画など

#### <消費者ニーズの徹底分析>

- マーケットリサーチ、消費者嗜好や健康志向のトレンド把握など

#### <地域資源の革新的活用>

- 地域特産品や伝統食材の現代風アレンジなど
- 未利用資源や規格外農産物の有効活用、サステナビリティを考慮した商品開発など

### 生産性向上

#### <スマート工場化の推進>

- IoTやAIを活用した生産ラインの自動化・効率化など
- 生産プロセスの最適化と品質管理の向上など

#### <人材育成と技術継承>

- 熟練工から若手従業員への技術伝承プログラムの構築など

#### <サプライチェーンの最適化>

- 地域内の農業生産者や流通業者との連携強化や原材料の安定調達など

### 販売力向上

#### <デジタルマーケティングの強化>

- ECサイトやSNS活用による販売チャネル拡大など

#### <海外市場への積極展開>

- 海外展示会出展や商談会参加など

#### <地域ブランディングの確立>

- 地理的表示（GI）保護制度の活用など地域ブランドの価値向上など

上記の取り組みはあくまで一例です。これらの取り組みに当たっては補助金制度の活用や地域商社の活用なども有効な支援策となります。